

創造都市政策の多様な展開

日時

2019 2/21 木 13:30~17:10
(開場 13:00)

場所

同志社大学
今出川キャンパス
良心館107番(RY107)教室

お申込み方法

入場無料

事前申込制 (先着150名様)
締切:2019年2月15日(金)

お申し込みは下記 URL よりご確認ください

URL : <https://goo.gl/forms/av9Y3gHvJh7bZnx72>



QRコードは
こちらから
読み取ります

第一部 「創造都市政策におけるこれからのアートプロジェクト」 13:30~15:30

13:30~13:35 あいさつ

13:35~14:05

基調講演 「地域から人材を育成する
~アーツプロジェクトスクール@3331がめざすもの~」
中村 政人 氏 (アーティスト/東京藝術大学絵画科教授)

14:10~15:30

パネルディスカッション 「地域におけるアートプロジェクト
~劇場・音楽堂、美術館等の役割と可能性~」

- パネリスト
柿塚 拓真 氏 (日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラム担当マネージャー
豊中市立文化芸術センター事業プロデューサー)
- 黒澤 伸 氏 (金沢21世紀美術館 副館長/金沢市民芸術村 総合ディレクター)
- 橋本 裕介 氏 (ロームシアター京都/KYOTO EXPERIMENT プログラムディレクター)
- 中村 政人 氏 (同上)
- モデレーター
綿江 彰禪 氏 (一般社団法人芸術と創造 代表理事)

15:30~15:45 休憩

第二部 「創造都市政策の到達点と今後の在り方」 15:45~17:10

15:45~16:00

自治体アンケート結果の報告

16:00~17:10

パネルディスカッション

- パネリスト
太下 義之 氏 (文化政策研究者/独立行政法人国立美術館 理事)
- 杉浦 幹男 氏 (アーツカウンシル新潟プログラムディレクター/宮崎県みやざき文化力充実アドバイザー)
- 吉本 光宏 氏 (株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事)
- 綿江 彰禪 氏 (同上)
- モデレーター
佐々木 雅幸 氏 (同志社大学経済学部特別客員教授/文化庁地域文化創生本部主任研究官)

お問い合わせ先

同志社大学 創造経済研究センター事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL:075-251-3728 FAX:075-251-3727
E-mail: rc-csce@mail.doshisha.ac.jp

主催:文化庁地域文化創生本部/同志社大学 創造経済研究センター
共催:同志社大学 ライフリスク研究センター
協力:創造都市ネットワーク日本
後援:京都府/京都市

講師

中村 政人



アーティスト／東京藝術大学絵画科教授
1963年秋田県大館市生まれ。アートを介してコミュニティと産業を繋げ、文化や社会を更新する都市創造のしきみをつくる社会派アーティスト。第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本代表。平成22年度芸術選奨受賞。1997年よりアート活動集団「コマンドN」を主宰。全国で地域再生型アートプロジェクトを展開し、2010年、民設民営の文化施設「アーツ千代田 3331」を創設。

パネリスト

柿塚 拓真



日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラム担当マネージャー／豊中市立文化芸術センター事業プロデューサー
福岡第一高等学校音楽科、相愛大学音楽学部卒業。社会保険庁福岡社会保険事務局(当時)を経て財団法人大阪府文化振興財団(大阪センチュリー交響楽団事務局、当時)に入局。

パネリスト

黒澤 伸



金沢21世紀美術館 副館長
金沢市民芸術村 総合ディレクター
1959年東京生まれ。1989年より水戸芸術館現代美術センター、1999年より準備室時代から金沢21世紀美術館の学芸員として設計やコミッションワークの誘致、コレクションの形成などに関わる。その後、工房研修施設「金沢湯涌創作の森」所長を経て2017年より現職。

パネリスト

橋本 裕介



ロームシアター京都/KYOTO EXPERIMENT
プログラムディレクター
1976年、福岡生まれ。京都大学在学中の1997年より演劇活動を開始。2010年よりKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭を企画、プログラムディレクターを務める。2013年2月より舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)理事長。2014年1月よりロームシアター京都勤務、プログラムディレクター。

第一部モデレーター
第二部パネリスト

綿江 彰禪



一般社団法人芸術と創造 代表理事
2006年名古屋大学大学院経済学研究科修了、2006年(株)野村総合研究所入社 コンサルティング事業本部、2014年慶應義塾大学大学院文学研究科修了、2016年(株)野村総合研究所退職・独立。現在、一般社団法人芸術と創造 代表理事。政府や地方自治体を対象とした文化政策・産業政策及び文化団体の運営に関するコンサルティングを行う。<http://www.pac.asia/watae.html>

パネリスト

太下 義之



文化政策研究者／独立行政法人国立美術館 理事
専門は文化政策、博士(芸術学)。公益社団法人日展理事。文化経済学会<日本>理事。文化政策学会理事。政策分析ネットワーク協同副代表。東京芸術文化評議会委員。新潟アーツカウンシル・アドバイザー。鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。著作権保護期間の延長問題を考えるフォーラム発起人。

パネリスト

杉浦 幹男



アーツカウンシル新潟プログラムディレクター
宮崎県みやざき文化力充実アドバイザー
1970年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部卒業。大阪市立大学大学院創造都市研究科修了。三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員、沖縄県産業振興公社、沖縄版アーツカウンシル プログラムディレクターなどを経て現職。実践女子大学非常勤講師。

パネリスト

吉本 光宏



株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事
1958年徳島県生。文化施設開発やアート計画のコンサルティング、文化政策、創造都市、五輪文化プログラム等の調査研究に取り組む。現在文化審議会委員、東京2020組織委員会文化・教育委員、東京芸術文化評議会評議員、主な著作に『アート戦略都市—EU・日本のクリエイティブシティ』(監修)等。

モデレーター

佐々木 雅幸



同志社大学経済学部特別客員教授
文化庁地域文化創生本部主任研究官
金沢大学経済学部、立命館大学政策科学部、大阪市立大学大学院創造都市研究科で教授を経て、2014年4月から2017年3月までは文化庁文化芸術創造都市振興室長を務める。創造都市ネットワーク日本の顧問として、国内の様々な創造都市の取組を支援。主な著書に「創造都市の経済学」、「創造都市への挑戦」など。

